

タイ経済指標斜め読み

(2025年7月版)

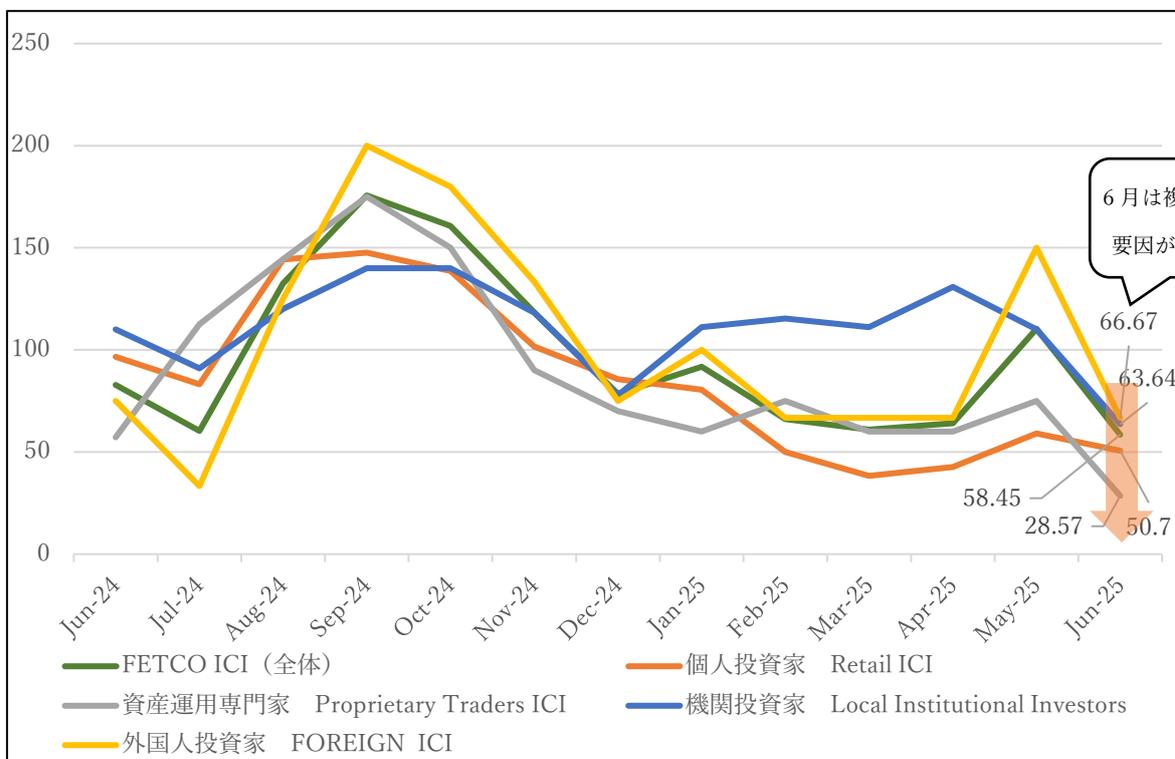
ビジネスサポート部

加藤義人

kato@mat.co.th

■No. 1 ■【指数データ】投資家信頼感指数

タイ投資家連合会（FETCO）は6月、向こう3ヶ月（9月）の投資家信頼感指数を発表した。同指数は、資産運用専門家、個人投資家、機関投資家、外国人投資家の4つで構成されている。



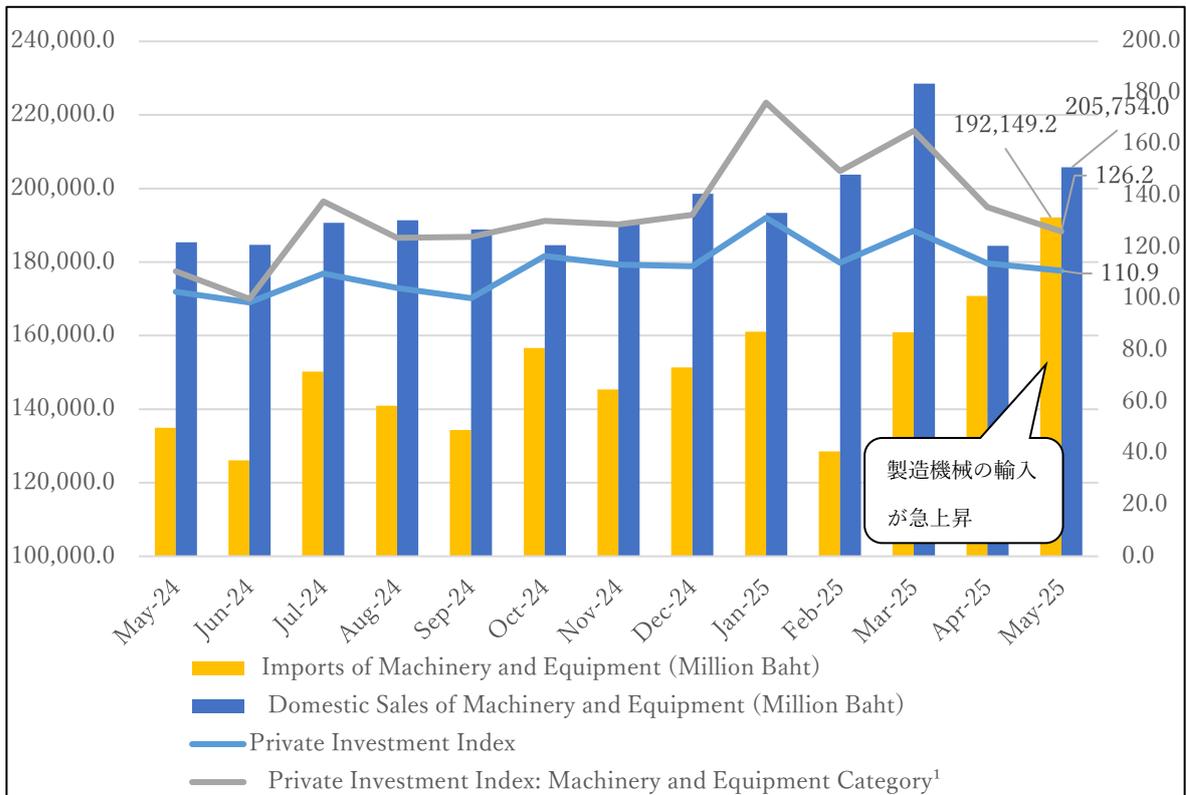
● 投資家信頼感指数 (FETCO ICI: FETCO Investor Confidence Index)、向こう3カ月の期待指数 (0~200で高いほど好感)

● FETCO ICI 区分け: ●(160 - 200) 大変力強い、●(120 - 159) 力強い、●(80 - 119) 中間、●(40 - 79) 弱い、●(0 - 39) 大変弱い

6月の全体指数は58.45、個人投資家指数は50.7、資産運用専門家は28.57、機関投資家は63.64、外国人投資家は66.67となった。要因として、イスラエル・イラン戦争、カンボジア国境紛争、国内政治の混乱、トランプ関税に於ける今後の影響など、複数の要因が重なったことにより、指数の低下をもたらした。7月には関税額が決定する予定とそれぞれの紛争もある程度決着が付き始めると思われるので、改善に向かっていくと思われる。

■No. 2 ■【指数・集計データ】投資指数・製造機械の輸入額と国内販売

タイタイ中央銀行は、5月の民間投資指数を発表した。下グラフは、製造機械の輸入額と同国内販売額、民間投資指数と製造機械投資指数をそれぞれ掲載した。(2018 = 100)

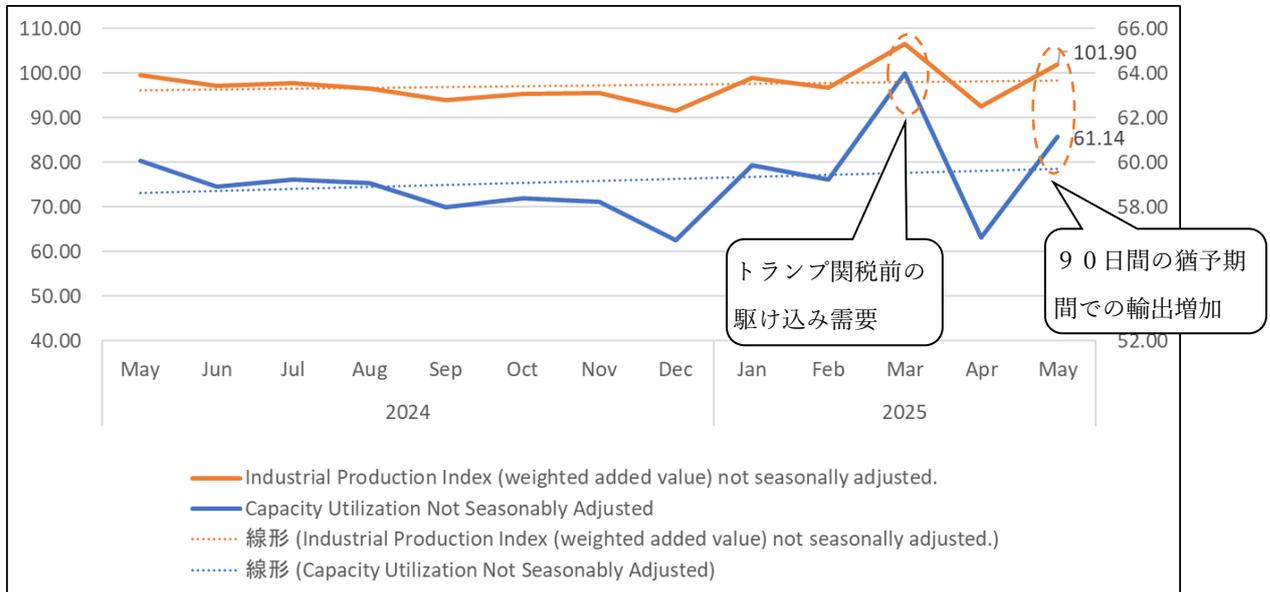


5月の民間投資指数は、110.9、同製造機械関連指数は126.2、製造機械輸入額は192,149Million Baht、同機械国内販売額は205,754Million Bahtとなった。同機械の輸入に関しては、2021年以降で、最多の額となった。また、同機械国内販売額も過去最高ではないが、2番目に高い額となった。一時的な米向けの駆け込み需要では、ここまでの投資は必要ないと思われるので、実際に自動車や電気電子関連用の製造機械の需要が高まっていると推測される。製造業は今後も需要が増加していくと見込んでいる。

出所：<https://www.bot.or.th/>

■No. 3 ■【指数データ】生産指数・設備稼働率

タイ商務省工業経済事務局（OIE）は、5月の製造業生産指数と設備稼働率を発表した。（2021年=100とする）今回は、全体の傾向を掴むため、近似値曲線（点線）を追加した。



5月の製造業生産指数は101.90、設備稼働率は61.14となり、前月からV回復となった。トランプ関税が発表される前の3月に出来るだけ輸出を行うため生産が一気に増加したことによるもので、その余波で4月は下落、5月は90日間の猶予が設けられたことで、一気に生産と設備稼働が始まったことが如実に結果に表れている。次に近似値だが、両指数とも昨年の同月から徐々にではあるが右肩上がりとなっていることが見て取れる。自動車生産台数が回復傾向にあることも指数改善の要因になっていると思われる。ちなみに経済産業省では、設備稼働率が80%を超えればよいとされている。

出所：<https://i.index.oie.go.th/>

筆者紹介：2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2025 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。